令和７年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

岐阜大学動物実験委員会

令和８年１１月

Ⅰ．規程及び体制等の整備状況

１．機関内規程

１）評価結果 ■　基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □　機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □　機関内規程が定められていない。
２）自己点検の対象とした資料 ・東海国立大学機構動物実験等取扱規程 ・岐阜大学動物実験取扱規程
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に適合する機関内規定が適切に定められている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

２．動物実験委員会

１）評価結果 ■　基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □　動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □　動物実験委員会は置かれていない。
２）自己点検の対象とした資料 ・岐阜大学動物実験取扱規程 ・動物実験委員会名簿
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会が設置されており、適正に運営されている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

３．動物実験の実施体制

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □　動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □　動物実験の実施体制が定められていない。

2）自己点検の対象とした資料
・岐阜大学動物実験取扱規程

3）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。

4）改善の方針、達成予定時期
該当しない。

4．安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1）評価結果
■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
□ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
□ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
□ 該当する動物実験は、行われていない。

2）自己点検の対象とした資料
・岐阜大学動物実験取扱規程
・岐阜大学遺伝子組換え実験安全管理規程
・岐阜大学病原体等安全管理規程
・岐阜大学放射線障害防止管理規程
・岐阜大学エックス線障害防止管理細則
・岐阜大学薬品等管理規程
・動物実験施設利用者講習会テキスト　動物実験施設利用の手引き１巻～5 巻

3）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。

4）改善の方針、達成予定時期
該当しない。

5．実験動物の飼養保管の体制

1）評価結果
■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。

2）自己点検の対象とした資料
・岐阜大学動物実験取扱規程
・岐阜大学飼養保管施設一覧（合計：４７施設）

医学部（２施設：空間識実験装置機械室） 応用生物科学部（３３施設：応用生物科学部附属動物環境制御飼育室 等） 工学部（1 施設：工学部 F 棟 606 飼育室） 教育学部（１施設：教育学部温室　鶏飼育ケージ） 高等研究院（９施設：科学研究基盤センター動物実験施設小動物飼育区画 等） 糖鎖生命コア研究所（１施設：岐阜研究棟動物施設）
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会委員が、飼養保管施設とその実験動物管理者を把握できる体制となっている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

６．その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当しない。

Ⅱ．実施状況

１．動物実験委員会

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、適正に機能している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・岐阜大学動物実験委員会議事要録（会議開催：１２回）
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 岐阜大学動物実験取扱規程に基づき、適正な委員会を実施している。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

２．動物実験の実施状況

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

３．安全管理を要する動物実験の実施状況

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。 □　該当する動物実験は、行われていない。
２）自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料

3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全管理上注意を要する動物実験について、他委員会とも連携をとり適正に実施されている。
4）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4．実験動物の飼養保管状況

1）評価結果 ■　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料 ・令和７年度実験動物の飼育状況報告書 ・科学研究基盤センター動物実験分野利用の手引き
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 岐阜大学動物実験取扱規程及び科学研究基盤センター動物実験分野利用の手引き等に基づき適正な飼育・保管を行っている。
4）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5．施設等の維持管理の状況

1）評価結果 ■　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料 ・飼養保管施設設置承認に係る資料 ・実験室設置承認に係る資料
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設の申請に関して、動物実験委員会委員が、直接申請された施設を確認し、委員会が定めたチェックシートに沿い、調査を行っている。その調査結果をもとに、委員会が施設の設置承認の審査を行っており、審査体制は適正である。
4）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

６．教育訓練の実施状況

１）評価結果

■　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

□　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

□　多くの改善すべき問題がある。

２）自己点検の対象とした資料

・岐阜大学動物実験教育訓練実施状況の資料

令和７年度受講者数（のべ）：３６６名

＜実施日＞

①動物実験委員会主催（e-Learning）（受講者１９０名）

令和 6 年度から、対面開催ではなく、e-Learning 形式に移行し、受講期間の制限を無しとした。実施方法としては、動画教材を視聴後、小テストを提出（80 点以上で合格）する仕組みとしている。

②科学研究基盤センター動物実験分野主催（参加者１７６名）

令和７年４月２１日、令和７年４月２３日、令和６年６月１７日、令和６年６月２０日、令和７年６月６日、令和７年８月２６日、令和７年９月１８日、令和７年１０月２１日、令和７年１０月２４日、令和７年１２月１９日、令和７年１２月２３日、令和７年２月１６日、令和７年２月１８日

・岐阜大学動物実験教育訓練資料（①で使用）

＜教育訓練の内容：ビデオ講義＞

関連法令、指針等について

動物実験等の方法について

実験動物の飼養保管方法について

安全確保、安全管理に関する事項について

その他、適切な動物実験等の実施に関する事項について

・動物実験施設利用者講習会テキスト　動物実験施設利用の手引き１ 巻～５ 巻　（②で使用）

３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。

４）改善の方針、達成予定時期

該当しない。

７．自己点検・評価、情報公開

１）評価結果

■　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

□　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

□　多くの改善すべき問題がある。

2）自己点検の対象とした資料 ・岐阜大学動物実験取扱規程 ・動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・動物実験に関する検証結果報告書（平成２６年度）
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検・評価、情報公開は適正に実施されている。
4）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

8．その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

（1） 岐阜大学動物実験委員会の構成 岐阜大学動物実験取扱規程により１０名 ① 動物実験等に関して優れた識見を有する者 ４名：医学系研究科（再生機能医学）、医学部附属病院（循環器内科学）、 応用生物科学部（獣医臨床繁殖学）、応用生物科学部（動物管理学） ② 実験動物に関して優れた識見を有する者 ２名：高等研究院（実験動物学）、高等研究院（実験動物学） ③ その他学識経験を有する者 ３名：工学部（生体科学）、教育学部（社会言語学）、地域科学部（人文・社会学）、 ④ 研究安全管理課長 １名 （2）令和７年度実験動物の使用及び飼育状況報告書（別紙１） （3）令和７年度動物実験実施状況に関する調査書（別紙２）

実験動物の使用及び飼育状況に関する調査（令和7年度分）

別紙1

		教育学部			地域科学部			医学部			工学部			応用生物科学部			糖鎖生命コア研究所			高等研究院			連合獣医			連合創薬			連合農学			合計		
	動物種	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日
哺乳類	マウス（遺伝子改変マウス以外）	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	17,122	89,610	246	240	300	1	1,520	73,752	202	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64,686	163,662	448
	マウス（遺伝子改変）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		47,996	131	520	680	2	45,276	5,795,604	15,878	0	0	0	0	0	0	0	0	0		5,844,280	16,012
	ラット（遺伝子改変ラット以外）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,233	20,372	56	0	0	0	86	14,940	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,439	35,312	97
	ラット（遺伝子改変）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120	10,768	30		8,580	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,348	53
	ハムスター類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238	0	0
	モルモット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	127	0	0	0	0	0	75	723	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	202	723	2
	スンクス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	3,600	10	0	0	0	109	12,914	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164	16,514	45
	ウサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	18	4,700	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	4,700	13
	イヌ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	730	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	730	2
	ネコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	フェレット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	27	14,400	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	14,400	39
	ヤギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	9,855	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	9,855	27
	ヒツジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2,361	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2,361	6
	ウマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル（マカク属）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル（リスザル属）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル（マーモセット属）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他のげっ歯目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	510	2,640	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	510	2,640	7
	その他の食肉目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0
	その他の偶蹄目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0
	その他の霊長目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上記以外の哺乳類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	0	0
鳥類	ニワトリ	0	2,120	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,120	6
	ウズラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ガチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の鳥類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
爬虫類	ヘビ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	トカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の爬虫類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	その他	250	2,000	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	255	2,000	5
	合計	250	4,120	11	0	0	0	8	0	0	120	10,768	30	21,484	185,014	507	765	980	3	47,111	5,917,763	16,213	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69,738	6,118,645	16,763

※学内共同利用施設である高等研究院科学研究基盤センターの動物実験施設で実験・飼育を行っている動物については、高等研究院欄でカウントしている。

※※「/1日」は1日あたりの飼育数

動物実験実施状況に関する調査（令和7年度分）

別紙2

部局	継続課題*	新規課題	終了課題**
教育学部・教育学研究科			1
地域科学部			
医学部・医学系研究科、医学部附属病院	27	48	65
工学部・工学研究科	6	1	1
応用生物科学部	56	122	119
連合農学研究科			
連合獣医学研究科			
連合創薬医療情報研究科	2		
教育推進・学生支援機構			
糖鎖生命コア研究所	2	3	3
高等研究院	7	21	7
流域圏科学研究センター			
保健管理センター			
グローカル推進本部			
情報連携統括本部			
大学本部			
岐阜薬科大学	10	30	25
合計	110	225	221

＊　2024年度までに申請された案件で、2025年度以降も継続する課題

＊＊　2025年度中に終了した課題